

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	商工振興課
政策の柱	Ⅳ 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	取組の基本方向	「商工業の活力を高める」ため、商店街が活気にあふれ、地域コミュニティの核としての多面的な機能も発揮するための「商店街の魅力向上」、中小企業の持続的な成長を支えるための「中小企業の経営・技術革新の促進」、企業経営における基礎体力を強化するための「安定した経営基盤の確立」、多様な消費者ニーズに応え安定した商品供給を実現するための「市場機能の充実」に重点的に取り組みます。
政策名	2 商工業の活力を高める	政策目標	「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、本市の商工業の活力が高まっています。

2. 政策を取り巻く環境と進捗状況

① 政策を取り巻く環境	国・県等の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・買物弱者について全国的な課題となっており、課題解消のための商店街に対する期待は大きい。 ・栃木県は、平成23年3月に「新とちぎ産業プラン」を策定し、自動車、航空宇宙などの「重点5分野振興」、小規模事業者の経営力向上支援などの「小規模事業者支援」などを重点プロジェクトとし、計画期間の5年間に特に重点的に支援に取り組むこととしている。 	<p>② 構成する施策に関する市民意識調査結果</p> <p>【凡例】 1.商店街魅力向上 ▲ 2.経営・技術革新 ▲ 3.経営基盤の確立 ● 4.市場機能の充実 ■</p>	③ 政策の進捗状況	政策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	進捗状況(%)
	指標① (総合計画に基づく指標)	商工業がさかんであると感じている市民の割合			22.0	14.2	10.8	7.8		36.0	21.7%	
	指標②											
外部意見その他	<p>22年12月議会で、「今後の空き店舗対策の検討状況」について質問されている。</p> <p>22年6月議会で「中小企業の支援のニーズを把握する手段とその対応」について、23年3月議会で「地元中小企業に対する一歩踏み込んだ支援」について質問されている。</p>											

3. 政策の評価

④ 現状と課題の分析	成果が見られる点	各施策内の事業において、「中心商業地出店等促進事業補助金」、「CSR推進事業」、「特許等取得促進事業補助金」などは実績が伸びており、一部の事業においては商工業の活力を高めることに寄与している。	総論	厳しい経済環境の中、本市商工業の持続的な発展を実現するため、より有効な手法の検討や現行の事務事業の見直しが必要である。地域社会の核となる商店街の強化・魅力ある中心商業地の整備促進、中小企業者の高度技術開発の促進・経営支援体制の充実を着実に推進し、今まで以上に商店街・商工団体等との連携を強化していく。
	改善の必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識の重要度は高いが満足度が低い施策が多い状況である。 ・「商店街の魅力向上」、「中小企業の経営・技術革新の促進」については、商店街・商工団体等との連携を強化し、事務事業に反映させる必要がある。 ・東日本大震災の影響による電力供給量減少に対処するために事業活動の省エネルギー化を促す取組の強化が必要である。 ・中央卸売市場を取り巻く環境が厳しさを増し、取扱高が年々減少しているため、市場運営の健全性を確保し、市場の活性化を図る必要がある。 	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商業地への出店件数は目標を達成しているが、空き店舗数は依然として約120件であることから、「中心商業地出店等促進事業補助金」の制度見直しや「学生による空き店舗活用活性化事業」での支援に積極的に取り組む。 ・「高度化設備設置補助金」については企業の設備投資の意欲を高めるため、迅速な事業実施などに努める。 ・事業活動の省エネルギー化に向けて、効果的な支援の構築に努める。 ・中央卸売市場の活性化を図るため、市場や食に関するPRの強化に取り組む。

4. 政策を構成する施策一覧

No.	施策名	施策の達成状況					施策の二次評価		市民の意識	
		施策の指標(上段:総合計画に基づく指標) (下段:その他の指標)	H19:基準	H22	H24:目標	進捗状況	満足度	重要度	満足度	重要度
1	商店街の魅力向上	休日の中心商店街の通行量(人)	129,609	92,648	143,000	64.8%	総論	社会環境の変化により商店街に求められる役割も変化しているため、商店街の魅力向上させるためのより有効な手法の検討や現行の事務事業の改善の必要がある。商店街等が主体的に活性化に取り組む体制を強化するための支援を行い、活気にあふれた商店街の形成を図る。	8.5%	65.0%
						重点事業	中心市街地の空き店舗の減少・魅力向上に努めるため、「中心商業地出店等促進事業補助金」の充実や「学生による空き店舗活用活性化事業」での支援に積極的に取り組む。			
						見直し事業	・商店街が社会環境の変化に対応し、各地域の特色を活かした商店街の形成に主体的に取り組む体制づくりを誘導すると共に、商店街への効果的な補助・支援の仕組みについて検討する。 ・「大道芸フェスティバル実行委員会交付金」については、協賛金が事業の基本資金となるような運営体制を築く。			

様式3

No.	施策名	施策の達成状況				進捗状況	施策の二次評価		市民の意識	
		施策の指標（上段:総合計画に基づく指標） （下段:その他の指標）	H19:基準	H22	H24:目標				満足度	重要度
2	中小企業の経営・技術革新の促進	高度化設備設置補助制度を活用した企業数 （件）	40	24	45	53.3%	総論	商工会議所や商工会と連携を取りながら、中小企業の技術の革新・経営の合理化の意欲を高めるための有効な手法や社会情勢や企業ニーズを的確に把握し、事業内容を見直し、充実した補助制度に取り組む。	8.7%	60.4%
		—	—	—	—	—	重点事業	「高度化設備設置補助金」を最重点事業とし、迅速な事業実施に努めるなど、企業の設備投資の意欲を高める工夫をする。		
		—	—	—	—	—	見直し事業	・今後、より一層中小企業を取り巻く環境の変化の把握に努め、事業内容の見直しを適宜行う必要がある。 ・「CSR推進事業」については外部委員による主体的な取組を推進させるよう支援する。		
3	安定した経営基盤の確立	中小企業の製造品出荷額（百万円）	640,944		685,027	0.0%	総論	中小企業の安定した経営基盤を確立するため、中小企業を支援する有効なノウハウを持つ商工団体の支援に努める。また、社会環境の変化に迅速に対応できるよう、引き続き、商工団体との連携を密にし、市の補助制度や融資制度等について更なる利用促進を図る。	9.8%	61.3%
		—	—	—	—	—	重点事業	中小企業にとって身近な相談窓口である商工団体を支援し、市と一体となった中小企業支援の取組を検討していく。		
		—	—	—	—	—	見直し事業	商工団体補助事業について、補助金交付先団体との意見交換等を通じ、情報等を共有し、相互補完できるよう連携の強化を図る。		
4	市場機能の充実	中央卸売市場年間取扱高（トン）	187,820	161,603	188,849	85.6%	総論	「市場のあり方検討懇談会」の意見や国の「中央卸売市場整備計画」を踏まえた「市場のあり方」を策定し、市場機能の充実を図っていく。また、市場の機能が災害などにより損なわれることがないよう、生鮮食料品等の流通の強化および市場の安全性確保に取り組む。	16.1%	44.2%
		—	—	—	—	—	重点事業	「市場施設の維持整備・修繕事業」については、市場機能の充実を図るため、市場運営の健全性を確保しながら、市場関係者と連携し、計画的な施設・設備の維持整備・修繕を進めていく。		
		—	—	—	—	—	見直し事業	市場の一般開放を検討すると共に、大型店に対し市場利用要請の働きかけを行っていく。		